

幡多地区管内



新年のあいさつ心をこめて 絵手紙教室

女性部幡多地区は11月26日、絵手紙教室を開催しました。年賀状を準備するこの時期に、中村支部の夕部真理さんを講師に迎え毎年開催し今回で6回目となりました。

管内の女性部員やチラシを見て申し込んだ方も合わせて15人が参加。今年の干支「巳」や「紅梅」、「ヤブコウジ」の絵を毛筆を使って描きました。

描いた後は絵を教室に展示し、皆で絵を見ながら称賛し合いました。「先生のようになかなかうまく描けないが満足。楽しかった」や、「また来年もお願いします」と話しました。

幡多地区管内



愛育園さんからお礼を頂戴しました。
みんな上手です♡

保育園児×新採用職員 サツマイモの収穫体験・ 農業実習開催

企画組合員課では、食農教育活動の一環で毎年保育園児向けサツマイモの植え付けと収穫体験を開催しています。愛育園、蕨岡、大用保育所を招き11月7日に開催。同日は、採用2年以内の新採用職員による農業実習も兼ねており、事前にマルチをはがしツル切り、除草などの畑の整備も行い、子どもたちのサツマイモの収穫体験をサポートしました。子どもたちは、土の中から頭を見せたサツマイモを夢中で掘ったり、綱引きのように引っ張ったり。「取れたー！」や「先生見て！大きい！」と大喜び。自分たちで収穫したサツマイモは各保育所に持ち帰りました。

幡多地区から こんにちは

各支所で産業祭賑わう

大月出張所・大方支所・三崎出張所

11月3日は大月町、9日は黒潮町入野で、30日は土佐清水市にてそれぞれ産業祭が行われ、JAや青壮年部、女性部が参加しイベントを盛り上げました。

大月町の「マグロまつりin大月町産業祭」では、大月出張所職員が地元の松本養豚場の力豚「バラ」、「ローズ」や「スペアリブ」などの精肉460kgを販売。青壮年部幡西支部はポン菓子を無料配布、女性部大月支部はあん餅を販売しました。

黒潮町まるごと産業祭では青壮年部大方支部が綿菓子を無料配布。女性部大方支部がちらし寿司、炊き込みご飯、おでんを販売しました。

土佐清水市産業祭では三崎出張所職員が豚肉各部位を470kg分、女性部三崎支部があん餅やのし餅を販売し。幡多地区畜産振興協議会がひまわり乳業(株)の各商品を無料配布しました。また、西土佐にある横山精肉店の牛肉や宿毛市の村上ファームのウインナーなどの販売をしました。

幡多地区管内



女性部大方支部
あっという間に完売

2時間足らずで
完売！



大月支部の
もち販売



大方支部の
綿菓子無料配布



JA出荷の新鮮で
きれいな野菜も販売



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 幡多地区

幡多地区年金友の会 ゴルフ大会開催



ゴルフ大会に臨む参加者の皆さん。

当地区信用共済信用課は11月14日、年金友の会ゴルフ大会を開催しました。黒潮町にある土佐ユートピアアカントリ倶楽部で各支部から30人が参加。同大会はゴルフを楽しむながら支部間で交流し親睦を深めることが目的です。上級者も初心者も皆が商品を扱い楽しめるようハンディキャップを算出するダブルベリア方式で行い、参加者の皆さんは晴天の下、腕を競いました。見事優勝したのは中村支部の山本敏夫さん。ゴルフ愛好家の皆さんや年金をJAでお受け取りでない方はぜひJAへ。年金友の会では特典としてランドゴルフ大会や誕生日プレゼント、支部により旅行や交流会などがあります。詳しくは最寄りのJA貯金窓口までお気軽にお問い合わせください。

3 中村支所

第4回中村まつり開催 青壮年部、女性部など盛り上げる



青壮年部中村支部の豚串は大変人気があります。

中村支所はJAグリーン四万十店にて11月23日、中村まつりを開催しました。青壮年部幡多本部と女性部幡多地区は毎年協力し餅の無料配布をしています。今回は同店にて千円以上のお買い物で無料配布を行いました。また、青壮年部中村支部が4年ぶりに豚串を販売。準備した1000本の串を会場で焼き来場者を呼びました。また、女性部中村支部は毎年食堂を開いています。カレー、うどん、ちらし寿司、炊き込みご飯を販売し大変盛況でした。その他製菓店や農機の展示販売、苗木、刃物などJAならではの店が並びました。大勢が詰めかけた餅投げでは、5俵分の祝い餅をまき盛況のうちにイベントを終えました。

6 西土佐出張所

農民運動会開催 仲間と楽しむ



猪は3回転してからスタートします。

青壮年部西土佐支部と女性部西土佐支部は11月9日、第32回農民運動会を西土佐小学校体育館にて開催しました。同運動会は月刊誌『家の光』の昨年10月号にも掲載された注目のイベント。今回は大原光鶴副組合長と竹吉春美非常勤理事もかけつけ競技に参加しました。小ナス、イチゴ、ナバナ、ユズの4チームに分かれ、「猪追い」や「愛の餌運び」など10種目。参加者はどの競技も積極的に参加し、応援もにぎやか。運動会閉会後に餅投げが行われ、最後まで楽しみ盛り上がりしました。

4 幡多地区

露地ショウガ目慣らし会 出荷先の在庫状況を確認



山田課長の説明を聞く参加者の皆さん。

幡多地区露地生姜部会は11月1日、中村集出荷場にて目慣らし会を開催しました。部員、出荷先である(株)あさの、各支所販売課、営農指導員など約20人が参加。同社の山田課長が県内におけるショウガの出荷状況や単価推移、昨年の在庫量などの説明をしました。今年は夏場の高温と降水量不足により、収量が少ないと予想。収穫が始まり持ち直しているものの昨年の6割程度で、11月時点では昨年の在庫がほとんどない状態。山田課長は「特に加工品の引き合いが高く加工原料が不足しており単価の底上げにも影響している。在庫が満たされると単価にも影響するが読めないことも多い」と説明しました。春に出荷する困り出荷について各支所で調整し検討するし部会内で確認しました。

高知県養豚協会と幡多地区畜産振興協議会、一般社団法人高知県畜産会は11月16日、高知県豚枝肉共進会を開きました。同会は、肥育技術の確立と枝肉の肉質向上に役立てること、また、出品者等の親睦を図るため毎年開いており今年度で23回目となります。出品数は去勢52頭、雌54頭の合わせて106頭。そのうち上位6頭ずつの枝肉における外観や肉質など8項目の審査を行いました。審査の結果、雌の部で最優秀賞となった宿毛市の村上ファームが農林水産大臣賞を受賞。肉質良く厚みがあり、ロース芯がしっかりとバランスのとれた枝肉と評価され、賞者は次の通り。
・農水省畜産局長賞(去勢の部)Ⅱ農事組合法人 平野協同畜産第1農場(四万十町)・中四農政局長賞(雌の部)Ⅱ農事組合法人 平野協同畜産第1農場(四万十町)
また、影山孝之審査委員長は、「前回よりも枝肉重量のあるものも多く、均称のとれた肉質のよい『極上』として考えるものが多数あり全体的に成績が向上していた」と講評。村上ファームの村上満範さんは「従業員に感謝したい。共進会を通じて高知県全体を盛り上げていくような農場にしたい」と受賞を喜びました。その他の主な入賞者は次の通り。



(下) 農水大臣賞を受賞し表彰状を受け取る村上さん。

1 幡多地区

農林水産大臣賞に村上ファーム 高知県豚枝肉共進会



樹勢などを観察する会員の皆さん。

2 大方支所

次年度に備え現地検討会・反省会 黒潮グリーンレモン研究会

大方支所の黒潮グリーンレモン研究会は11月15日、次年度に向けた現地検討会と反省会を開催し、会員や黒潮町、高知県幡多農業振興センターなど約20人が参加しました。検討会では、幡東営農センターの伊藤指導員が会場ごとに温度管理や施肥管理などを説明した後に剪定を上演。同会下村昌幸会長は「ハウスの内の温度を上げることが望ましいが、害虫のリスクに注意し、使用時期によって薬剤を使い分ける必要があること。また、土中の酸度についても意識し、無駄のない施肥とかん水を」と呼び掛けました。検討会後の反省会では、伊藤指導員が月別の果実肥大調査の結果について、開花期以降、結実し収穫に至るまでの果実肥大速度や栽培管理との関係性を説明。結果調査をもとにグリーンレモンの新たな栽培技術の確立と今後の栽培管理についても説明を行いました。今年度の出荷量は64tで、次年度の目標は70tとしていきます。

えいのう〜



幡多農業振興センターより

幡多農業振興センター 藤本

こども達への食農教育と 宿毛市農業のPR 活動を実施 〜宿毛4Hクラブ〜

○宿毛4Hクラブとは?

「4H」とは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕（Hand）を磨き、科学的に物を考えることのできる頭（Head）を養い、誠実で友情に富む心（Heart）を培い、楽しく暮らし、元気に働くための健康（Health）を増進するという、同クラブの4つの信条の頭文字を総称したものです。

4Hクラブとは、よりよい農村・農業を創るために、若手農業者が中心に活動している組織です。宿毛4Hクラブは、今年度で設立から60年目を迎え、30代・40代の農家が中心の総勢18人で構成され、4Hの理念のもと、地域の子どもたちへの食農教育や消費者との交流等の活動を行っています。

○活動について

宿毛4Hクラブは、「地域の子どもたちに農業の魅力を知ってもらおう」ことを目的に、保育園児や小学生への食農教育活動に力を入れています。また、宿毛市農業のPRを目的とした農産物の販売も行っており、宿毛市産業祭や農業祭などへの出店や、地域の店舗と連携してファーマーズマーケットを開催しています。

令和5年度には、「すくも青空フェスタ」という当クラブ主催の食育イベントを開催し、宿毛市産の食材を使ったランチプレート販売、子どもたちが料理を作り振る舞うKid's レストランなどのさまざまな取り組みを行いました。

その他にも、小学校での食農に関する出前授業や、地元の保育園の園児とジャガイモの定植・収穫作業を行いました。ジャガイモ収穫では、台風の影響で、収穫できるかどうか不安でしたが、無事にジャガイモが育ち、園児たちが楽しく収穫することができました。

今年度は、出前授業やジャガイモ収穫体験といった食農教育活動に加え、道の駅すくもサニーサイドパークで行われるマルシェへの出店や「すくも青空フェスタ」の開催を予定しています。



すくも青空フェスタの様子



保育園児とのジャガイモ定植の様子

今後も多くの方々に、宿毛4Hクラブの活動を知ってもらい、子どもたちに農業の魅力を伝えられるよう、出前授業や食育イベントの開催などに力を入れていきます。

宿毛4Hクラブの活動に興味がある方は、お気軽に幡多農業振興センター担当者までご連絡ください。

TEL : 0880-34-7070

※11月号にて掲載した内容に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
JA幡東営農センター：誤 0880-34-5301
正 0880-31-5301

果菜苗の作り方と選び方 野菜作りは苗半作

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

苗作り中の管理の良しあしが、植え付け後の生育に大きく影響します。果菜類では、苗作り中に花芽分化が起こり、栄養生長と生殖生長が同時に進みます。葉菜類では種まきの時期によってはとう立ちが問題となり、収穫の成否に影響します。

〔育苗土の条件〕
限られた用土で良い苗を作るためには、良い用土（培土）が必要です。

- ・水はけ（排水性）が良く、水持ち（保水性）、肥持ちに優れること。
- ・生育に必要な肥料養分をバランス良く含み、酸度は弱酸性〜中性（pH5.8〜7.0）であること。
- ・病原菌、害虫、雑草種子を含んでいないこと。

土質が均一で安価、しかも入手しやすいこと。
なお、良質な床土の材料には落ち葉、稲わらなどの有機物が必要ですが、身近にない場合や少量の苗作りでは、市販品の利用が簡便です。これらの用土は、組成が均一で病害虫の心配がありません。

- 〔苗作り中の管理〕
- (1) 温度
果菜類では生長促進と花芽を作るために、

やや高温で管理します。果菜類の苗作りは気温の低い季節となるので、暖かい場所やトンネル内の育苗にします（表1）。

(2) 光
苗作りでは十分な光が必要ですが、春夏の苗作りでは光が強過ぎ、日焼けを起こしたり、しおれが生じる場合は、寒冷しゃなどで遮光します。生育に応じて苗間を広く取り、理想的には互いに葉先が触れ合う程度に広い間隔を取ると良いでしょう。

(3) 水分
セルトレーやポット育苗では用土が少ないため、頻りに灌水（かんすい）が必要になります。用土の乾き具合を灌水の目安にしますが、ナス、ピーマン、キュウリでは灌水量はやや多めに、メロン、トマトではやや少なめに灌水します。しかし、苗作りの後半には、苗の徒長を抑えるためにやや乾燥気味に管理します。

(4) 慣らし
植え付け前に外気に慣らすことを馴化（じゅんか。※順化とも）といいます。手入れの行き届いた環境から気象の影響の大きい畑に植え付けるため、1週間前くらいから、土を乾き気味にして、十分に光を当ててやります。

(5) 植え付け
果菜類は晩霜の恐れのない時期（平均気温16、17度以上）を目安に、逆算して播種（はしゅ）日を決めます（表2）。

〔良い苗の選び方〕
良い苗を購入するには、次の点に注意して選びましょう。

- ・子葉が付き、茎が太く、節間が詰まって下葉は厚く、緑が濃くがっしりしているもの。
- ・病気や害虫が付いていないもの。
- ・トマトやナスでは、膨らんでいるつぼみが見えるもの。
- ・トマト、キュウリ、ナスなどの接ぎ木苗は病気に強い台木が使われているので、値段が少々高くても作りやすい。
- ・ポット苗では根が発達し、根鉢が完成しているもの（図1）。

図1 良い苗の選び方(例トマト)

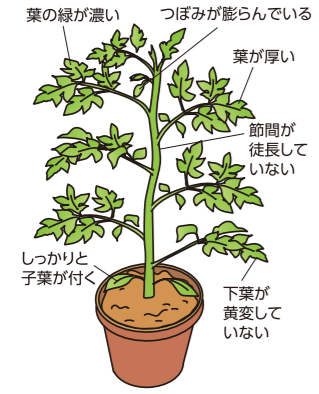


表2 主な果菜類の育苗日数 ※

野菜名	種まき時期	育苗日数	苗の大きさ(本葉数)
トマト	3月上旬～	60日前後	7.8
ナス	2月下旬～	80～90日	10～12
ピーマン	2月下旬～	80日前後	10～12
キュウリ	3月下旬～	30日前後	2.3
スイカ	3月下旬～	30日前後	4.5
メロン	3月下旬～	30～35日	3.4
カボチャ	3月中旬～	30日前後	3.4

※中間地での例 参考:タキイ種苗ウェブサイト「家庭菜園 野菜栽培マニュアル」

表1 主な果菜類の育苗温度(目安)

野菜名	最高限界(度)	日中(度)	夜間(度)	最低温度(度)
トマト	35	20～25	8～13	5～8
ナス	30～40	23～28	15～18	10～15
ピーマン	32～35	25～30	15～20	12～15
キュウリ	35	18～25	12～15	8～12
スイカ	35	23～28	13～20	10～13
メロン	35	20～25	10～15	8～10
カボチャ	28～35	20～22	10～15	8～10

参考:長野県「野菜栽培指標」

園芸研究者 ● 成松次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

うちんくの台所のコンニャクの唐揚げが案外簡単そうでしたので作ってみました。まあまあ上手にできて嬉しかったです。老夫婦、仲良くおいしくいただきました。コンニャクの唐揚げって初めてでした。次回も楽しみにしています。みなさんの笑顔いつもステキですね。

(宿毛支所管内・84歳)

そば粉入りドーナツは、体にも良さそうなので作ります。

(中村支所・68歳)

▼11月号の「うちんくの台所」レシピ紹介は、コンニャクの唐揚げとそば粉入りドーナツでした。コンニャクの唐揚げ、私も挑戦しました。過去にコンニャクをちぎって味付けし片栗粉で和え揚げたものは作りましたが、片栗粉とコンニャクが剥がれやすく、イマイチな結果でした。今回コンニャクの揚げ物と聞きリベンジ!! 女性部レシピの通りに作ると大成功! コンニャクは10分ほど茹でると「ぶりんぶりん」になり歯ごたえがよくなります。さらに衣をつけて外はカリッと食感。おつまみにも最高でした。皆さんもぜひお試しください♪

今年は夏の異常な暑さ、雨の少なさ多さと、天気にも振り回され、カメ虫の異常発生、もう農家には最悪の年でした。どうぞ来年度は笑顔がふえますように。

(佐賀出張所管内・68歳)

今年は柿が1個もならない年だったので、干し柿にもできませんでした。

(宿毛支所管内・87歳)

今年は我が家の柿の木3本、家の周辺の柿の木にも柿が1個もなっていないませんでした。裏年とはいっても1個も・・・なんてびっくり。来年は柿の実がなるかなあ・・・。

(宿毛支所管内・61歳)

「干し柿」を自分で作る友人が、今年は柿が不作で買う柿がない! とぼやいています。

(佐賀出張所管内・68歳)

▼道中あちこちで柿の実がなっていない木を目の当たりにしました。原因は裏年とカメムシの被害などだそうですが残念です。今年はずっと実る柿色がたくさん見られそうです。

宿毛4Hクラブの計画で、宿毛市二ノ宮の園児3才〜5才の16人が1人3個の種イモ(ジャガイモ)を植え付けて収穫後フライドポテトやポテトサラダを作って食べるのを楽しみに待っている。いい企画と思います。

(宿毛支所管内・87歳)

▼「宿毛4Hクラブ」について、今月号の「えいのう」コーナーで高知県幡多農業振興センターから詳しくご紹介がありました。12月1日には、宿毛市のサニサイドパークにて、JA青壮年部幡西支部と道の駅すくもと協力し「トラックマルシェ」を開催。普段はJA出荷を通し県内外に流通する品。自分たちの作った野菜を直売し地域住民の皆さんに食べてもらおうと企画。農食教育だけでなく、さまざまな活動を積極的に活動しています。今後も活動の様子など本誌でもどんどんご紹介していきます。

四万十市立蕨岡小学校の学習発表会にて「イチゴ作り名人に聞こう!」発表〜!

11月9日に開催された蕨岡保育所、小学校合同の学習発表会では1、2年生が体験授業で学んだことを発表しました。昨年の6月に地元でイチゴの栽培をしている景平俊之さんのハウスを訪れてイチゴについてたくさんのお話を聞き、イチゴのランナーを栽培用ポットに移しました。9月には成長したポットの苗を畝に定植し生長を願いました。これまで学んできたことを、家族が見守る中プロジェクターを使い発表しました。

みんなが植えたイチゴはすくすく生長中! 次の体験は、全員が心待ちにしているイチゴの収穫を予定しているそうです。



新刊のお知らせ



●『薬膳おむすび』

植木もも子 著 定価：1,650円(税込)

季節や体調に合わせて、具材を選んで組み合わせるだけ。具材をごはんに混ぜるだけのものから、炊き込みごはん、作りおきできるふりかけまで100種類を紹介。玄米や胚芽米、雑穀米などのバリエーションも豊富。小さなおかずや汁物のレシピも充実。「なんとなく調子が悪い」そんなときは、ぜひ薬膳おむすびを試してみてください。